

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 588 事業名 消防団施設補助事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防団費	
	大事業		消防団事業	
事項		消防団施設補助事業		

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
取組	3	非常備消防力の強化

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	消防総務課	嶋本 智行 (426-0119)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実	メリハリある都市づくりの充実	史跡和歌山城の充実					
市民の健康環境の充実	道路・公共交通網の充実	海を生かした観光シフトの充実					
総合的な子育て環境の充実	総合防災体制の充実	美味しい和歌山市イメージの充実					
その他	その他	その他					

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	各地区消防分団の消防施設等の強化充実、消防団活動に必要な不可欠な消防機械器具等の購入及び老朽化した器具の更新を図り、地域防災の中心的な役割を担う消防団の整備を行う。	消防用ホース等の資機材の購入及び維持管理並びに消防団施設及び通信器具等の整備				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		・消防分団器具庫の修繕工事1件 ・小型動力ポンプ付積載車2台 ・小型動力ポンプ1台、その他の機械器具12消防分団に対し55件の整備	・消防分団器具庫の修繕工事1件 ・小型動力ポンプ付積載車1台、その他機械器具13消防分団に対し27件の整備	・消防分団器具庫の修繕工事1件 ・警鐘台撤去工事 1件 ・その他機械器具12消防分団に対し24件の整備	・消防分団器具庫の修繕工事1件 ・警鐘台修繕工事 1件 ・その他機械器具10消防分団に対し30件の整備	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	7,978	11,481	3,915	4,259	37,937	39,019	38,729			
	伸び率 (%)	-	-	-50.9%		869.0%		2.1%			-100.0%
	人件費	常勤職員	6,352	6,397	6,397	6,256	6,256	6,496	6,496		
		非常勤職員						220	307		
	小計	6,352	6,397	6,397	6,256	6,256	6,716	6,803			
	国庫支出金		2,697								
	県支出金										
	市債					31,500	32,919	29,900			
その他											
一般財源(税等)	7,978	8,784	3,915	4,259	6,437	6,100	8,829				
所要人数	常勤職員	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83	0.86	0.86			
	非常勤職員						0.09	0.12			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	小型ポンプ(軽四)積載車貸与台数					年度目標値			7	7
						実績値			7	
	単位	台	全体目標値	7	全体目標達成度	100.0%		100.0%		
						年度目標値				
						実績値				
単位		全体目標値		全体目標達成度						
成果指標	消防ポンプ積載車台数の維持					年度目標値	129	129	129	129
						実績値	129	129	129	
	単位	台	全体目標値	129	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	消防ポンプの正常可動率					年度目標値	100	100	100	100
						実績値	100	100	100	
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
					年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当 B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止		B 1 事業の充実に向けた見直し B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化		担当課評価 (所属長記載)

担当課評価の根拠	地域の要望に沿う形で、消防団施設等の充実については一定の効果が図られたが、今後は徐々にではあるが公費化について検討していきたい。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	消防団は、常備消防と同様、市町村の消防機関であり、地域の安全確保また各種災害に対応するためには、消防団施設の充実が不可欠である。消防団施設の整備については、現行補助金制度により行っているが、公費負担の在り方について検討していきたい。